

令和6年度 総合的な学習の時間 全体計画 江戸川区立東小松川小学校

校長名 高木 伊織

名称 ひがこまタイム

学校の教育目標	ひがこまっ子は、みんな仲よし、夢がある ・思いやりのある子 ・考える子 ・やりぬく子 ・じょうぶな子
---------	--

国が示す総合的な学習の時間の目標

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
 (1) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解できるようにする。
 (2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
 (3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を育てる。

学校の総合的な学習の時間の目標

- 1 自ら課題を見つけ、課題を解決するために、自分の方法で追究し、表現し活動を振り返ることができる子供を育成する。
- 2 課題を解決するために、いろいろな調べ方を試し、自分にあった学び方やものの見方・考え方ができる子供を育成する。
- 3 課題を解決するために、主体的にかかわり、ねばり強く創造的に、友達と協働的に取り組むことができる子供を育成する。
- 4 課題を解決する過程や解決した結果を振り返り、今後の自分の生活や学習に生かすことができる子供を育成する。
- 5 社会や他者と積極的にかかわり、みんなのために役立つことのできる子供を育成する。

育てようとする資質や能力及び態度

〈学習方法に関すること〉

第3・4学年	第5・6学年
<ul style="list-style-type: none"> ・課題設定力を身に付ける ・多様な課題追究方法を考える 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決の見通しをもつ ・調べたことをもとに情報を分析する
〈自分自身に関すること〉	
第3・4学年	第5・6学年
<ul style="list-style-type: none"> ・対象に主体的にかかわる ・自分の思いや願いを大切にする 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の発想や方法を大事にする ・これからの自分のしたいことや生き方を考える
〈他者や社会とのかかわりに関すること〉	
第3・4学年	第5・6学年
<ul style="list-style-type: none"> ・比べたり、つなげたりして他者や社会とかかわる 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分と他者、社会とのかかわり方を考えて活動できる

内容	学習事項
第3学年 ・地域の自然とそれを守る人々(地域・自然)	・親水公園や小松菜栽培など地域の人・もの・ことの保全や継承のために力を注ぐ人々について考える。
第4学年 ・地域の環境と保全に関わる人々(環境) ・繋ぐひがこまの伝統(蓮田)(伝統・文化)	・身近な地域の環境を理解し、環境問題と自分たちの生活の関わりを考えたり、よりよい環境づくりの取り組みについて考えたりする。 ・学校の伝統や文化(蓮田)を理解し、受け継ごうとする活動や取り組みについて考える。
第5学年 ・地域の福祉とそれに携わる人々の思いや願い(福祉) ・地域の発展に貢献した人々の活動(地域の発展) ・繋ぐひがこまの伝統(伝統・文化)	・地域における福祉の現状と問題を理解し、福祉問題の解決やよりよい福祉をつくるための取り組みについて考える。 ・地域の発展に尽力しているひと・もの・ことについて理解し、よりよい地域作りの取り組みを考える。 ・学校の伝統や文化を理解し、受け継ごうとする活動や取り組みについて考える。
第6学年 ・地域に暮らす外国人と自分たちの生活(国際理解) ・繋ぐひがこまの伝統(伝統・文化)	・世界の国々の伝統や文化のよさを理解し、異なる文化と交流する活動や取り組みを考える。 ・学校の伝統や文化を理解し、受け継ごうとする活動や取り組みを考える。

学習活動	指導方法	指導体制	学習の評価
・各学年、地域とのかかわりを意識し学習活動を設定する。	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価カードを利用し、見通しをもたせる。 ・人・もの・こととの繰り返しかかわりを重視し思いや願いを活動に生かす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人材を生かし、授業に参加してもらう。 ・関係諸機関を利用した授業づくり。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポートフォリオを活用した評価の充実。 ・自己評価カードを利用する。